



東日本大震災における  
被災宅地危険度  
判定活動について

～仙台市での北海道の派遣活動の動きなど～

北海道建設部まちづくり局都市計画課

## ○地震発生から判定士派遣までの流れ

- ・3月11日地震発生
- ・3月12日国土交通省から北海道の被害状況の確認
- ・3月15日判定士の派遣について国土交通省に確認
- ・全市町村に派遣の可否の確認
- ・3月18日宮城県から国土交通省を通じて派遣依頼あり
- ・再度、市町村に派遣の可否の確認
- ・現地事情、行き方、宿泊、食事など情報収集
- ・3月22日新千歳空港出発

# 派遣要請の内容

平成23年3月18日宮城県から国土交通省を通じ派遣要請がありました。  
 派遣要請(危険度判定実施)期間:平成23年3月23日から4月3日までの12日間  
 調査対象箇所数:仙台市内の約2,000宅地  
 (この約2,000宅地については、地震発生後から仙台市に被災情報が寄せられた件数です。)

3月19日北海道では各市町村と調整し派遣を決定  
 北海道11名、札幌市6名、旭川市2名、函館市2名、長沼町1名、幕別町2名  
 合計24名  
 その他の都府県:青森県、秋田県、山形県、群馬県、東京都など

## 北海道の派遣体制(判定作業の日程)

月 日	3月							4月			
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2
日程	第1陣 2班 6名 北海道		第2陣 2班 6名 道、函館、札幌			第3陣 2班 6名 道、旭川、札幌			第4陣 2班 6名 道、長沼、幕別		

前後1日を移動日とし、各班の引継ぎを行えるよう班を編成

# 派遣時の仙台市内の様子

第1陣の派遣時には、当地の状況が不明なところが多く、仙台市と情報交換を行い派遣の準備を行った。

## 1 仙台市内の様子

- ・都市ガスの停止
- ・ガソリンなどの燃料の不足
- ・薬局、スーパー、コンビニエンスストアの営業停止(食料の調達が難しい状況)
- ・市内の公共交通機関の運行が徐々に始まった状態。
- ・宿泊先ホテルは確保されているが、食事の提供、清掃作業はなし、暖房は使用できない時間帯がある。
- ・レストラン等一部の店舗では営業再開(一部のメニューのみ提供)
- ・自動販売機はほとんどが売り切れの状態

## 2 仙台市周辺の交通状況

- ・仙台空港 → 津波被害のため使用不能
- ・東北自動車道 → 開通
- ・山形道(仙台から山形) → 一部規制有り
- ・山形空港 → 使用可能

派遣時には、山形空港に到着し陸路で仙台市に向かった。

## 仙台市内の様子

### ガソリンスタンド給油待ち状況



### ガソリンスタンド給油待ち状況



### コンビニエンスストアの状況



# 実際の判定活動の流れ

## 判定活動の1日の流れ（朝の様子）

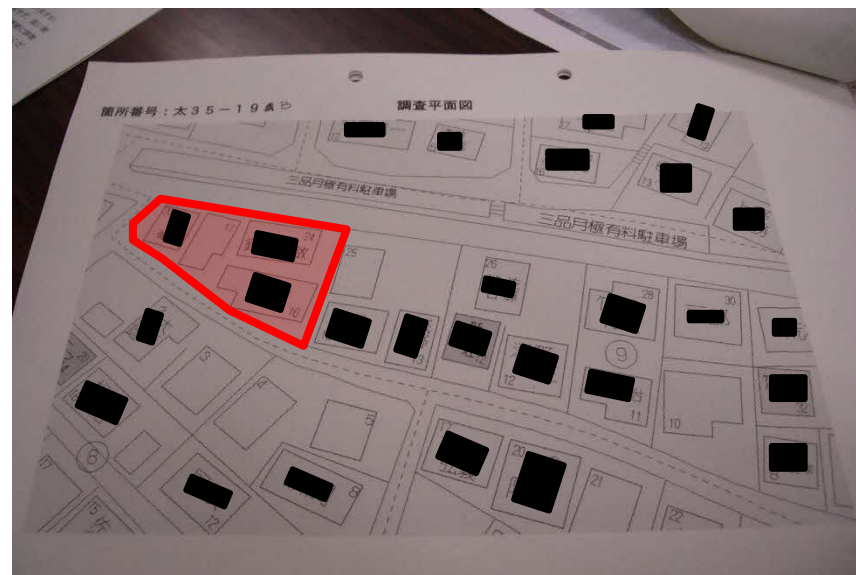
### 判定実施本部に集合（8:30）

判定実施本部からの連絡事項が伝達される  
（主な内容）

- ・当日の天候状況
- ・判定実施本部の問い合わせ先の確認
- ・判定実施箇所（住宅地図等の配布）
- ・判定開始前に非難できる出入り口の確認
- ・現場終了時間の確認（16時までに実施本部に集合）



詳細図



住宅地図に詳細な判定箇所が明示される

## 判定活動の1日の流れ（判定実施の様子）



現地の被災状況を確認しながら調査票に記入



調査終了後、結果を説明



## 判定活動の1日の流れ（判定実施の様子）



判定結果を見えやすい所に貼り付け

## 判定活動の1日の流れ（判定終了後資料整理及び判定結果説明の様子）



判定結果整理



判定結果を判定調整員に説明

調査票を提出し、撮影した写真を市のHDに格納

判定作業に使用したもの(最低限のもの)

(下線のもの個人で準備をお願いしたいもの)

- ・被災宅地危険度判定士登録証、腕章、判定調査票、判定ステッカー、  
バインダー(下敷き)
- ・コンベックス(クラック幅測定など)
- ・ホワイトボード・マジック(写真撮影に必要)
- ・スラントルール
- ・デジタルカメラ
- ・ガムテープ(判定ステッカーの貼り付け)
- ・筆記用具、電卓(様式3記入時に使用する可能性あり)
- ・リュックサック
- ・ヘルメット、軍手、雨具及び防寒具、食料、飲料水

※実施マニュアルに記載されている物で最低限必要なものは道都市計画課で準備しますが、個人が準備するものもありますので、実施マニュアルを参考にして下さい。